



- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども

各種学校訪問がありました

6/21 北教育事務所 山本出張所長訪問

山本出張所長様はじめ3名の方々が授業を参観しました。

「子ども主体の授業づくり」、「一人一人の考えをつないでいくための手立て」など、ご助言いただきました。

*授業の様子を紹介します。(21日 所長訪問)

6/23 町教育委員会 巡回研究会

町教育委員・学校運営協議会委員の皆様が授業を参観しました。

ICTを活用した授業、学習に集中して意欲的に発表する児童の様子などを見ていただきました。



1年1組 算数
「のこりはいくつ ちがいはいくつ」
ひき算を使う問題は、子どもたちは上手に取組んでました。



2年1組 国語
「スイミー」
「ミサイルみたい」という「たとえ」の表現の意味について、先生と対話しながら深めていきました。



2年3組 生活単元
「思い出をまとめよう」
遠足の思い出をまとめるため、パソコンを使って動画や写真を見せ、思い出を選びました。



3年1組 国語
「まいごのかぎ」
自分が読み取った登場人物の気持ちの変化を、話型を活用しながら、友達の考えとつないで発表していました。



4年1組 算数
「小数のしくみを調べよう」
小数の加法の筆算の仕方を考えました。たし算のつづきや発問から、ねらいを達成できました。



5年1組 社会
「くらしを支える工業生産」
ペーパーや全体で話し合い、様々な工業製品がどこでどのように作られているのかという学習問題をつくりました。



6年1組 算数
「分数の倍を考えよう」
自分がお薦めする友達への「振り返り」を紹介することを通して、今日の授業のポイントをおさらいしました。



2・6年2組 生活単元
「すくろくで遊ぼうパート2」
すくろくをしながら、止まったマスに書かれたミッションを二人でクリアしていきました。

基本的な生活習慣の定着を目指して ～ヘルパビ週間始まる～

6月19日(月)から、ヘルス&ハピネス週間が始まりました。これは、児童の基本的な生活習慣の定着を図るための取組を、月ごとにねらいを変えて、全校で行うものです。

今月は「給食後の歯磨き」をしっかりと行うことです。学年ごとの取組の結果は、児童玄関に設置された『ヘルス&ハピネス マシーン』(左写真)に入れられたボールの数で表されます。



本校児童のう歯(虫歯)保有率は高い状況です。また、歯科への受診が必要と診断された児童も全体の6割超です。時間をかけたていねいな歯磨きに取り組むように呼びかけていきます。

来月は朝食を食べてきたかどうかを調べる予定です。

1・2年生は朝顔の水やりが日課です。月曜の朝は、土日の2日間であつたという間に大きく育った。本葉の生長の早さにびっくり。いつ花が咲くのかな?とわくわくしながら水やりをしています。



今週の一枚

ジオサイト見学(4年)

6月19日(月)、4年生が御所の台でトレッキングを行いました。

ガイドの方から説明を聞きながら、約1時間ほどのコースを散策しました。森の中はひんやりしていて気持ちよかったです。

途中、熊のツメ跡やモリアオガエルの卵を見つけました。また、様々な木が自生していることも知りました。

自然豊かな白神山地を満喫してきました。



町探検(3年)

6月19日(月)、3年生が、町探検を行いました。

社会科の授業の一環として、中浜・茂浦地区にある様々な施設・事業所の場所や土地の状況などを、地図を見ながら確認して歩きました。

このあとの授業で、地図記号を使って、自分たちで地図を作成する予定です。

地域を知るよい学びにもなりました。



つばき 平和の意味を考える

今日、6月23日は今から78年前、太平洋戦争における沖繩戦が終結した日、「沖繩慰霊の日」です。日本では唯一、一般住民が巻き込まれた地上戦が行われ、戦死者20万人。そのうち、一般住民や子どもなどが10万人。当時の沖繩県民の4人に1人が命を落としました。慰霊祭では毎年、「平和の詩」が朗読されます。二〇一九年は沖繩市小学6年女児の詩「本当の幸せ」でした。

青くきれいな海

爆弾が何発も打ちこまれ 炎で包まれた町
そんな沖繩を見たのではないだろうか

緑あふれる大地
けたたましい爆音 泣き叫ぶ幼子
兵士の声や銃声が入り乱れた戦場
そんな沖繩を聞いたのだろうか

青く澄み渡る空
青の空は どんなことを思ったのだろうか
緑が消え 町が消え 希望の光を失った島
体が震え 心も震えた 希望の光を失った島

いくつもの尊い命が奪われたことを知り
そんな沖繩に涙したのだろうか

平成時代 私はこの世に生まれた
青くきれいな海 緑あふれる大地
青く澄みわたる空 知らない私

海や大地や空が74年前
何を 何を聞き 何を思ったのか

知らない世代が増えて 体験したことはなくとも
戦争の悲惨さを 決して繰り返してはいけないことを
伝え継いでいくことは 今に生きる私たちの使命だ

二度と悲しい涙を流さないために
この島が この国が この世界が幸せであるように

お金持ちになることや
有名になることが幸せではない
家族と友達と笑い合える毎日こそが 本当の幸せだ

未来に夢を持つことこそが 最高の幸せだ

「命どう宝」 *沖繩語(ぬちどうたから) 意味:命こそ宝
生きていくから笑い合える

生きていくから笑い合える

令和時代 明日への希望を願う新しい時代が始まった
この幸せをいつまでも

未だに終わらない戦争や紛争。子どもたちの未来のため、平和の意味をしっかりと考えたいものです。今年の慰霊祭では、高校3年生の詩「今、平和は問いかける」が朗読されます。

